

[協働事業の企画書概要]

<p>事業名</p> <p>事業主体</p>	<p>人工透析患者ならびに身体障害者、高齢者の通院・外出支援サービス事業</p> <p>NPO法人 大和市腎友会</p>
<p>事業の概要</p>	<p>『どういう問題を解決しようとしていますか？』</p> <p>人工透析患者の週3回の通院の「足」を、ボランティアな移送サービスで確保（「生命」との引換え問題）</p> <p>透析患者に限らず、広く身体障害者、高齢者の通院・外出支援サービス</p>
<p>どういう主体と協働するのがよいと考えていますか？</p>	<p>主体A：NPO法人 大和市腎友会</p> <p>主体B：病院</p> <p>主体C：大和市および近隣自治体</p> <p>主体D：助成団体</p>
<p>協働事業としてそれぞれの主体に何を期待していますか？</p>	<p>主体A： 利用者ニーズに基づく事業の実施 業内容および情報のオープン化 車体広告による助成団体の宣伝 機関誌による助成団体の広告掲載</p> <p>主体B： 送迎サービスの必要がある利用者に対して事業者の情報提供</p> <p>主体C： 財政負担 福祉車両の自動車税減免措置など 拠点となる事務所スペース、会議室の提供 車両保管場所の提供 市外に及ぶ事業への近隣自治体を含めた広域行政体制の実現 協働事業の広報宣伝活動に対する協力</p> <p>主体D： 車両の助成 活動資金の助成</p>
<p>その他</p>	<p>患者団体自らがボランティアの協力を得て、透析患者の移送サービスをしている全国唯一のNPO団体</p>